

氏名： 服田 昌之 (HATTA Masayuki)
所属： 人間文化創成科学研究科自然・応用科学系 湾岸生物教育研究センター
職名： 准教授
学位： 博士（理学）(1993 京都大学)
専門分野： 進化発生学
URL： <http://marine.bio.ocha.ac.jp>
E-mail： hatta.masayuki@ocha.ac.jp

◆研究キーワード / Keywords

サンゴ／進化発生／生物多様性
Coral / EvoDevo / Biodiversity

◆主要業績

総数 (2) 件

- Hatta M., Matsushima K. Presumed natural hybrids between *Acropora donei* and *Acropora tenuis*. *Galaxea*, JCRS 10: 91 (2008)
- Matsushima K., Hatta M., Kiyomoto M. Molecular evidence supporting predation by emerging snails on hermatypic corals in temperate areas of Japan. *Galaxea*, JCRS 10: 43 (2008)

◆研究内容 / Research Pursuits

ミドリイシサンゴ幼生の着生変態を左右するバクテリアを海底の基盤上から得るために、バクテリア群集を混合状態のまま培養する新規手法を確立した。着生変態誘導活性を有するバクテリア群集の培養を高い効率で得ることができた。このバクテリア混合培養は、植え継ぎと凍結保存が可能であることが実証できた。さまざまな機能性バクテリア群集の培養に応用範囲が広いと考えられる。

Marine bacteria from underwater substrates were screened for the effectors on settlement and metamorphosis of larvae in the coral genus *Acropora*. This year, novel mix-culture methods were tested to obtain bacterial communities that retain symbiotic relationships and the activity to induce metamorphosis/settlement of coral larvae. Those active batches were able to keep through passages and cryopreservation. This novel culture method may be applied to a variety of bacteria communities and functions.

◆教育内容 / Educational Pursuits

全学リベラルアーツ科目では、多様性生物学と海洋環境学ダイビング実習を担当した。理学部生物学科の専門科目では、進化生物学、発生遺伝学、内分泌学、分子遺伝学実習、生物学実習Ⅱを担当した。

大学院では、博士後期課程1年1名の指導を行なった。

I provided the following subjects: "Biodiversity" and "Marine Environments and Diving" as liberal arts, and the following subjects as biology majors: "Evolutionary Biology", "Developmental Genetics", "Endocrinology", "Molecular Genetics Laboratory" and "Basic Biology Laboratory II".

The doctor study and seminar were also held during the whole fiscal year for one student.

◆研究計画

サンゴの着生変態機構の解明を基盤として、種苗生産によるサンゴの増殖を実用化し、サンゴ礁域の環境修復と保全へと発展させていきたい。

また、バクテリア群集を、共生状態を保持したまま混合培養する新規手法を開発した。様々な機能性バクテリア群集の探索と物質生産への応用に着手したい。

◆メッセージ

地球は水の惑星で、その表面の約7割は海である。その中で、日本は約6000の島から成る島国であり、古くから海の恵みに支えられた海洋国家であるはずである。では、あなたは海のことをどれだけ理解していますか？ 海を大切にしていますか？ 海の生物を出発点として、持続可能な社会や環境の実現に貢献できるような、人類の知的財産としての研究と、人材の育成を目標にしています。